

中国地区品質経営協会 人材育成シンポジウム

■ 開催主旨

モノづくり企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。環境変化に適応して持続的成長を実現するのは、組織を構成する人であり、人材育成は重要な経営課題であります。人材育成は個別的な施策の寄せ集めではなく、基礎的・総合的な施策として実施されるべきであり、うまくやれば大きな効果を発揮し得る潜在的可能性を秘めているものと考えます。皆様の会社で実施されている様々な人材育成活動を見直し、必要に応じた再構築を検討してみる価値はあるかと思えます。そこで、今年度は人材育成のための方策について、基本的考え方と現実の実態の両面から迫ることに致しました。

研究開発からモノづくりそのものまでにわたっての人材育成について包括的に学ぶことができるように、最初に創造的かつ挑戦的な研究開発領域で一貫して主導的役割を遂行してこられたマツダ株式会社技術研究所長の農沢隆秀氏から研究開発のための人材育成についてお話しいただき、次に工場で多様な役職を経験されグローバルに全事業のものづくりを指導・支援しておられる株式会社クボタのモノづくり統括部長の新井洋彦氏からグローバル下での現場重視の人材育成について講演いただきます。

最後に広島工業大学名誉教授の久保田洋志氏をコーディネータに、会場からのご質問を踏まえ、講演者に人材育成について深掘りする討論をしていただく予定にしております。

是非多数の皆様のご参加を賜りますよう、ご案内申し上げます。

■ 日 程 2012年12月18日(火)13:20~17:10(13時開場)

■ 会 場 広島商工会議所ビル1階101会議室

■ 内 容

第一部 講演Ⅰ 「これからの自動車技術と、その研究開発のための人材育成について」
(13:25~14:35)

マツダ株式会社 技術研究所所長 農沢隆秀氏

講演Ⅱ 「グローバル展開に伴う現場重視の人材育成の強化」 (14:45~15:55)
株式会社クボタ モノづくり統括部長 新井洋彦氏

第二部 パネル討論会 「人材育成のポイントは何か」 (16:05~17:05)

マツダ株式会社 技術研究所所長 農沢隆秀氏

株式会社クボタ モノづくり統括部長 新井洋彦氏

(コーディネータ)広島工業大学名誉教授 久保田洋志氏

■ 講師・コーディネータ紹介

農沢 隆秀 氏 (マツダ株式会社 技術研究所 所長)



【経歴】1980年 広島大学大学院工学研究科博士課程前期修了。1980年マツダ株式会社入社。主として車両の実験研究開発領域を担当。1994年「自動車車体の空気低減に関する研究」で博士。2005年車両実験研究部長。2010年技術研究所長。その他2007年から現在まで東京大学生産技術研究所委嘱研究員、近畿大学客員教授他を兼務。

【講演要旨】自動車の技術は、環境と安全のキーワードのもとで、ハイブリッド車や電気自動車も導入され、エンジン、車両共に進化している。それは、これまでと異なる大きな過渡期を迎えており、しかも、その動きは速い。この世界的な動きの中での、世界のお客様に期待して頂ける車を開発するには、大きな挑戦が必要である。しかし、これらの高度で複雑化する挑戦課題を解決するには、しっかりした研究者・開発者の育成がとても重要になる。そこで、今後の研究・開発の参考として、将来に向けた自動車研究の方向について紹介するとともに、これまで進めてきた人材育成に対する考え方や取り組みを紹介する。

新井 洋彦 氏 (株式会社クボタ モノづくり統括部長)



【経歴】1986年に久保田鉄工株式会社(現 株式会社クボタ)に入社、コンバイン・田植機を生産する宇都宮工場に配属。同工場で22年間に亘り、製造・生産技術・資材調達・開発に従事し、モノづくり全般に関わる。資材課長・生産技術課長を歴任。その後、空調事業で工場長を務めた後、現職に至る。現在、クボタの全事業の生産技術・製造部門を統括する「モノづくり統括部」でクボタ製品を世界各国で同じ基準で生産する「Made By Kubota」を推進している。工場建設、設備導入、生産合理化、工場安全衛生の統括に加え、今回のテーマである「グローバル展開を支える現場重視の人材育成」を大きな課題として位置づけ、メーカーとしての技術・技能の伝承に取り組んでいる。

【講演要旨】経営の基本方針に、技術・モノづくりに軸足をおいた現場重視と人材育成の強化をあげている。教育研修と人事制度を連動させた仕組みで運営している。またモノづくりでは5ゲン道場を舞台に、5ゲン主義※3現(現場・現物・現実)+2原(原理・原則)の徹底実践に取り組んでいる。その他、クボタ鋳物道場など固有技術の取組みなどについてもご紹介する。

久保田 洋志 氏 (広島工業大学名誉教授・工学博士)



【経歴】1972年広島工業大学工学部経営工学科講師。80年助教授。88年工学博士(東京工業大学)。89年工学部教授。2012年名誉教授

【主な役職】日本情報経営学会常任理事。デミング賞審査委員(主査)。日本品質管理学会副会長。TPM優秀賞審査委員。QCサークル本部幹事。中国地区品質経営協会運営委員長。

■ 参加費

会員会社は無料（一般・非会員会社は 3,000 円／人をいただきます）

■ 申込要領

申込用紙に必要事項を記入のうえ、2012 年 12 月 7 日(金)までに、郵送、FAXまたはeメールでお申込みください。（申込者多数の場合は原則として先着者を優先します）

■ 主催・お問い合わせ先

中国地区品質経営協会 TEL (082)532-6844 FAX (082)532-6845
〒733-0011 広島市西区横川町 3 丁目 5 番 9 号(世良ビル 404 号)
e-mail: qmac@a1.mbn.or.jp URL: <http://qmac.jp/>

■ 会場・アクセス

広島商工会議所ビル 1 階 101 会議室

広島市中区基町 5-44 TEL(082)222-6610(代表)

- ・ 相生通り(国道 183 号線)沿い原爆ドームの向かい
- ・ 路面電車①②③⑥⑦系統・各社バス・アストラムラインを利用される場合は、原爆ドーム前、紙屋町、広島バスセンター、県庁前等で下車



「人材育成シンポジウム」参加申込書

申込先：中国地区品質経営協会

TEL (082)532-6844 FAX (082)532-6845

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目5番9号(世良ビル404号)

e-mail: qmac@a1.mbn.or.jp URL: <http://qmac.jp/>

会社名	申込責任者(役職・氏名):	
所在地(〒 -)		
参加者名	所属・役職	
参加者 (計 名)	受付確認連絡	必要 ・ 不要
参加費 (計 円)	請求書発行	必要 ・ 不要

※ご記入頂いた企業・組織および個人情報、参加申込受付処理並びに当協会からのセミナーや行事のご案内のために使用します。